

# “ほっこり”させてくれるヒーロー

市は、3年前から超神ネイガーとタッグを組んだ、「ゲンキ・リチャージ・プロジェクト」をはじめています。その内容については、ちょうど2年前の市長コラム「みんなを笑顔に！超神ネイガーの魅力」（No.32）で皆さんにお伝えさせていただいたところです。今回のコラムは、市HPで公開されているネイガーの報告書のうち「東京浅草『ふるさと交流ショップ台東』と『品川ふるさと美彩館』の二つについて紹介させていただきます。

■東京浅草「ふるさと交流ショップ台東」  
3月12日、出超（出張）で東京は浅草にある「ふるさと交流ショップ台東」に参上してきました。

場所は、浅草寺の裏通り下町商店街。ネイガーの参上を聞きつけて時間前から集まってくる集まってくる。SNSやヤフー広告宣伝をみてかけつけてくれたお客さんも。参上と同時に拍手で迎えてもらい、「まさか東京で本物ネイガーに会えるとは！」というお客さん。ショップには、「秋田出身です」「大館です」「横手です」「秋田市です」「秋田を離れて、大学、就職、お嫁さんになって家族でこっちに暮らしています」「おばあちゃんか男鹿です」「にかほ市です」「仁高卒です」「宮城です」「九州です」、秋田を離れ都会で頑張っている方たち、その友達までが「ふるさと交流ショップ台東」まで足を運んでくれました。秋田弁でのト

ークで交流。「久しぶりにふるさとに帰ろうかな」と、うれしかったです。

■品川あきた美彩館  
3月19日、東京都品川区にある秋田県のアンテナショップ「あきた美彩館」、春まつりに参上してきました。

「オープンする前から店の裏手にもう並んでいます」と、美彩館スタッフ、秋田県スタッフが教えてくれました。参上時間になり、いざ！どこまで行列が続いているんだというぐらいズラ〜と並んでいました。

並んでくれたお客さん一人ひとりと撮影。秋田出身で東京で働いている人、大学生、こっちへお嫁さんになって暮らしているファミリーなど、秋田出身、秋田にゆかりのある人たちがいっっぱい駆けつけてくれました。お店の中はお客さんでパンパン。お店のスタッフも「こんなに人が来ることはなかなかないな。すご〜い」と言ってくれました。

「秋田の大館出身です」「横手出身です。小さいときずっと見ていました。シヨ〜にも行きました」「大館同士で東京で結婚しました」。大人の人がなりきりセツ



ふるさと交流ショップ台東



あきた美彩館

トで遊ぶ姿や一人ひとりの喜ぶ様子を見て、県のスタッフ、美彩館のスタッフが「こっちの方がなんだかうれしくなって涙が出る」と「ほっこり」を感じてくれました。

## ■ノスタルジックな存在

私は、この報告書を読んだとき、胸に熱く迫るものを感じました。ネイガーは子どもたちに大人気であり、子どもたちのヒーローだと思いがちですが、実はネイガーは大人たちにとつてのヒーローでもあるのです。特に、ふるさとを離れ、遠くに暮らす人たちにとって、ネイガーはふるさとを感じさせてくれるノスタルジックな存在なのです。

ちなみに、ネイガーが参上したことによる売上効果ですが、浅草のショップについては「3倍の売り上げだったとの情報も、店番の方もびっくりしていました」とのことです。品川の美彩館についても「みんなして秋田の物をいっぺ買って買って、レストランも常に満席」であったとのことでした。両ショップのスタッフの皆様、ネイガーとその関係者の皆様たいへんご苦労さまでした。そしてショップにおいていただいたお客様にあらためて感謝申し上げます。



にかほ市長  
市川雄次

創造を

想像する

市政運営から日常の出来事まであらゆるテーマをコラムにしています。過去のコラムは市HPからご覧になれます。

